第２学年○組　　道徳学習指導案

指導者　○○　○○

１　日　　時　平成○○年○○月○○日（○）　○校時　　　　２年○組教室

２　主 題 名　「感謝の気持ち」

　　　　　　　出典：きゅうきゅうたいのおじさん　Ｂ－(7) 感謝（あかるいこころ２年）

３　本　　時

（１）ねらい　日ごろお世話になっている人々に感謝する心を育てる。

（２）準　備　教師…ワークシート、短冊、挿絵　　　　児童…明るい心

（３）展　開　（めあて：ありがとうを言いたい人を考えよう）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の学習活動と内容 | 教師の支援・留意点と評価 |
| ５  １０  ２５  ３５  ４０ | １　給食センターの人たちがどんな気持ちで給食を作っているのかを発表する。  ２　資料を読んで話し合う。  ３　救急隊のおじさんに手当てしてもらっ  　てるとき「ぼく」は、おじさんに対し  　てどんな気持ちだと思うか。  　・すぐ手当てをしてくれてありがとう。  　・はやく治して。  ４  涙を流しながら救急隊のおじさんにお礼を言っているお母さんの様子を見て、「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。  　・お母さんに心配かけたな。  　・ぼくもお礼をいわなくちゃ。  　・救急隊のおじさんのおかげだ。  　・ありがとう、おじさん。  ５　「ぼく」のように自分がありがとうを伝えたい人を考え、してみたいことをワークシートに書く。  ６　ありがとうを伝えたい人、してみたいことを発表する。 | ・給食センターの見学を思い起こさせることで、調理員さんや栄養士さんのお世話になっていることに気付けるようにする。  ・教師が挿絵を見せながら読む。  ・救急隊の人々のてきぱきとした手当ての仕方、優しい言葉がけを実際にやってみる。  ・主人公の気持ちを考えさせるために、役割演技を取り入れる。  ・救急隊の人の働きぶりに着目させるため  　に、お医者さんのことばを取り上げる。  ・お母さんは、悲しくて泣いているのではないことを押さえる。  ・周りの人への感謝の気持ちを持った主人公の気持ちに共感させるために、何度も頭を下げている母の姿を取り上げる。  ・家族だけでなく、身近にいるお世話になっている人に視点が行くように資料と関連させて助言する。  ・考える時間を十分とる。  〔評〕身近にいる人でありがとうを伝えたい人を具体的に見つけることができたか。（発言、ワークシート） |
| 視点 | ・お世話になっている周りの人の存在に気付き、感謝の気持ちを言葉や行動で表そうという意欲が高まったか。 | |